

若者のまちづくり活動に関する意識調査 報告書(速報版)

令和4年10月

仙台市市民局市民協働推進課

目次

アンケート調査の概要	2
「まちづくり活動」の定義	3
回答者の属性	4
年齢 / 職業	4
調査を知ったきっかけ	6
調査結果	8
まちづくり活動への興味・関心と活動経験	8
関心のある分野	9
まちづくり活動への参加に期待すること	12
まちづくり活動に参加したきっかけ	15
まちづくり活動への参加形態	16
まちづくり活動者の知人	16
まちづくり活動に参加することに対する妨げ	17
まちづくり活動に参加する若者が増えるために重要なこと	20
仙台市役所の取り組み等を知る手段	22
その他自由記述	25

アンケート調査の概要

本市では、「若者が活躍するまち」の実現を目指し、若者のさまざまなチャレンジを応援し、若い力を生かしたまちづくりを進めている。この取り組みをさらに推し進めていくために、若い世代の皆様のまちづくり活動に対する意識やご意見をお伺いする WEB アンケートを実施した。

調査期間： 令和 4 年 8 月 1 日（月曜日）から 31 日（水曜日）まで

対 象： 18 歳から 39 歳の方で、仙台市内にお住まいの方または通勤・通学している方

回答方法： みやぎ電子申請システムを用いた W e b アンケート

周知方法： 住民基本台帳から無作為抽出した 3,000 人に案内を送付したほか、市 H P やチラシなどで広く周知するとともに、大学や市民活動団体等に周知協力を依頼した。

「まちづくり活動」の定義

本調査における「まちづくり活動」とは、若い世代の方々が、社会や地域をよりよくするために、社会・地域が抱える課題の解決や、まちの魅力向上・地域の幸福度向上などに取り組む活動を指すこととした。

<まちづくり活動の例>



子ども食堂やフリースクールなどのボランティア



地域イベント運営



介護予防支援活動



障害者支援活動



国際交流活動



保護猫活動



L G B T Q 支援活動



S D G s 勉強会に参加



農業支援活動



地域清掃活動



地域安全パトロール



伝統芸能の継承



施設への慰問活動



コミュニティカフェや
交流イベントの運営・参加



SNS で地域の魅力などを
発信

他にも…

リサイクルや消費者教育などの啓発活動、商店街活性化イベントの企画運営、地域の交通安全活動、スポーツ少年団での指導、高齢者向け ICT 支援ボランティア、アートを通じた社会課題発信や交流を創るイベントの企画運営、フードバンク活動、職場での CSR 活動、歴史資産や伝統文化を活かした賑わいづくり、震災の教訓を活かした防災・減災活動 等

回答者の属性

年齢 / 職業

〔質問１〕 あなたの年齢をお答えください。

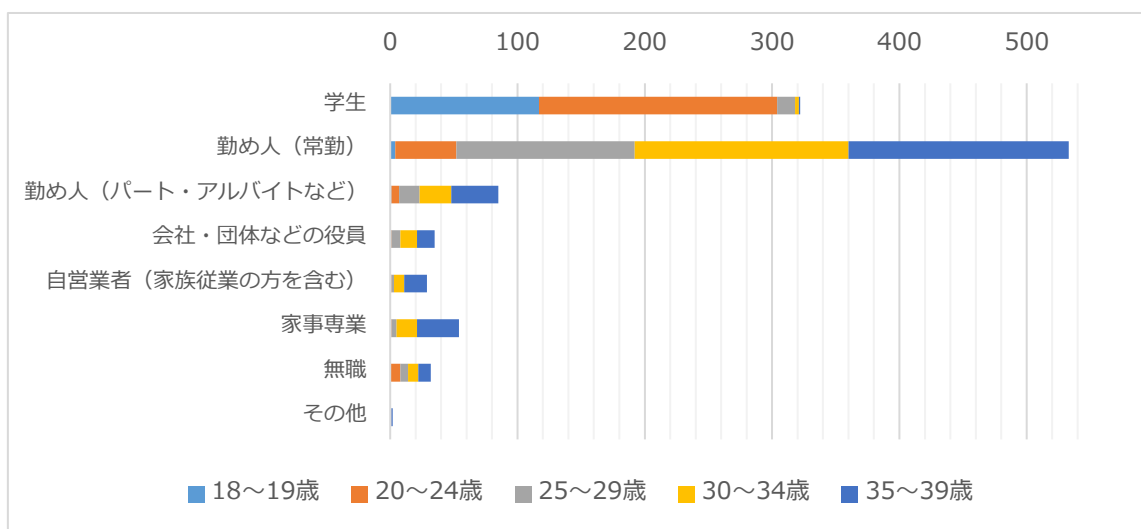
選択肢	回答数	割合
35～39歳	287	26.3%
20～24歳	252	23.1%
30～34歳	241	22.1%
25～29歳	190	17.4%
18～19歳	122	11.2%

〔質問２〕 あなたのご職業をお答えください。

選択肢	回答数	割合
勤め人（常勤）	533	48.8%
学生	322	29.5%
勤め人（パート・アルバイトなど）	85	7.8%
家事専業	54	4.9%
会社・団体などの役員	35	3.2%
無職	32	2.9%
自営業者（家族従業の方を含む）	29	2.7%
その他	2	0.2%

【回答者の職業と年齢】

職業	18～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	計
学生	117	187	14	3	1	322
勤め人（常勤）	4	48	140	168	173	533
勤め人（パート・アルバイトなど）	1	6	16	25	37	85
会社・団体などの役員	0	1	7	13	14	35
自営業者（家族従業の方を含む）	0	1	2	8	18	29
家事専業	0	1	4	16	33	54
無職	0	8	6	8	10	32
その他	0	0	1	0	1	2
計	122	252	190	241	287	1,092



調査を知ったきっかけ

〔質問3〕この調査を知ったきっかけを教えてください。

選択肢	回答数	割合
市役所からの郵便物	530	48.5%
インターネット・SNS	298	27.3%
その他	244	22.3%
チラシ	12	1.1%

※無回答 8件

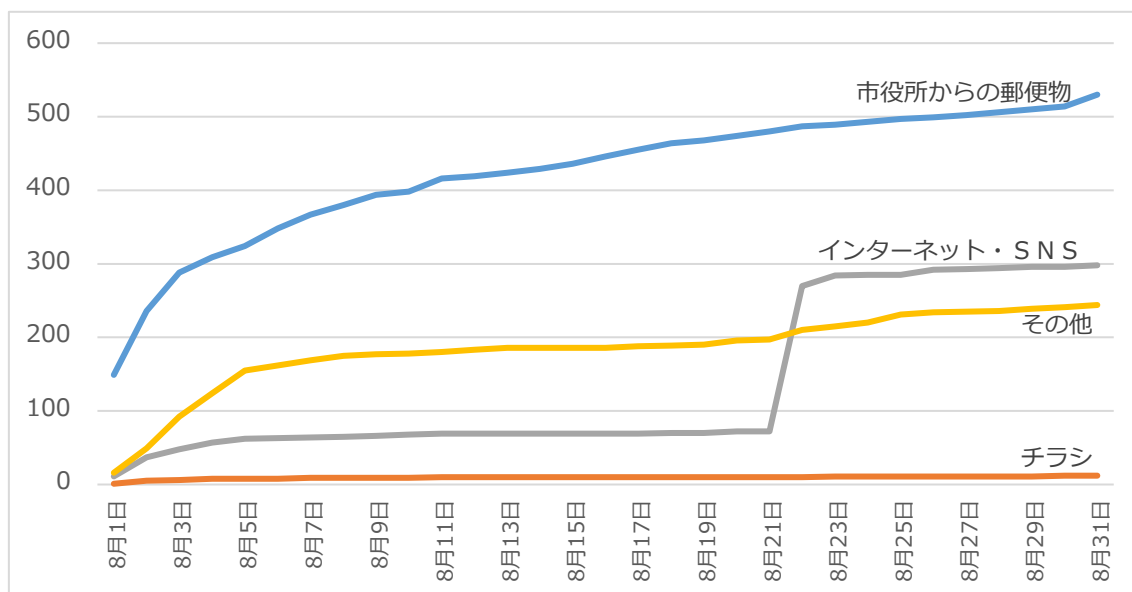
【「市役所からの郵便物」を選択した方の年代別回答率】

	18～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	計
郵送数	222	647	665	697	769	3,000
回答数	34	79	116	141	160	530
回答率	15.3%	12.2%	17.4%	20.2%	20.8%	17.7%

住民基本台帳から無作為抽出して案内を郵送した3,000名のうち、回答があったのは530名で、回答率は17.7%であった。30代の回答率が高くなっている。

※ 年代別の郵送数については、各年代の住民基本台帳人口から按分している。

【日別回答件数累計】



〔市役所からの郵便物〕案内文が投函された8月1日から最終日まで回答が伸び続けた。

〔インターネット・SNS〕市や市民活動サポートセンター等のホームページ、Twitter等で周知したほか、8月22日に仙台市公式LINEアカウントからメッセージを送信した。

〔チラシ〕市民センター等、各所にチラシを配架依頼した。

〔その他〕大学や関係機関、過去のイベント参加者等に周知協力依頼を行った。

【調査を知ったきっかけ（職業別）】

職業	市役所からの郵便物	チラシ	インターネット・SNS	その他
学生	75	6	46	191
勤め人（常勤）	334	6	159	31
勤め人（パート・アルバイトなど）	46	0	35	4
会社・団体などの役員	18	0	8	8
自営業者（家族従業の方を含む）	17	0	6	6
家事専業	18	0	33	3
無職	21	0	10	1
その他	1	0	1	0
計	530	12	298	244

調査結果

まちづくり活動への興味・関心と活動経験

〔質問４〕まちづくり活動への参加に対して、興味・関心はありますか。

〔質問７〕「まちづくり活動」に参加した経験がありますか。

活動経験	興味・関心 がある	特に興味・関心 はない□	計
経験がある（現在も参加中）	121 (11.1%)	7 (0.6%)	128 (11.7%)
経験がある（過去に参加していた）	109 (10.0%)	24 (2.2%)	133 (12.2%)
ない	614 (56.2%)	217 (19.9%)	831 (76.1%)
計	844 (77.3%)	248 (22.7%)	1,092 (100.0%)

まちづくり活動には77.3%の方が「関心がある」と回答しているものの、そのうちの大多数は、活動経験が「ない」と回答している。

この報告書では、興味・関心と活動経験によって、以下の5つのセグメントに分類し、一部設問においてセグメント毎の回答の分析も行った。

	まちづくり活動に 興味・関心がある	まちづくり活動に 興味・関心がない
活動経験がある （現在も参加中）	活動層 (n=121)	関心喪失層 (n=31)
活動経験がある （過去に参加していた）	経験層 (n=109)	
活動経験がない	関心層 (n=614)	無関心層 (n=217)

関心のある分野

(質問4で「興味・関心がある」と答えた方のみ回答)

〔質問5〕 どのような分野のまちづくり活動に興味・関心がありますか。

選択肢	回答数	割合
地域活性化・まちおこし	473	56.0%
学術・文化・芸術・スポーツ	395	46.8%
保健・医療・福祉	377	44.7%
子ども・青少年育成	366	43.4%
観光	363	43.0%
地域安全・防災	261	30.9%
自然・環境保全	254	30.1%
経済活性化	254	30.1%
社会教育	234	27.7%
災害救援	195	23.1%
情報化・科学技術	153	18.1%
職業能力開発・雇用機会拡充	152	18.0%
国際協力・交流	125	14.8%
男女共同参画	115	13.6%
人権・平和	103	12.2%
消費者保護	75	8.9%
その他	19	2.3%

「その他」の自由記述の例：同性パートナーシップ、動物愛護、交通、食 など

【年代別の関心のある分野】

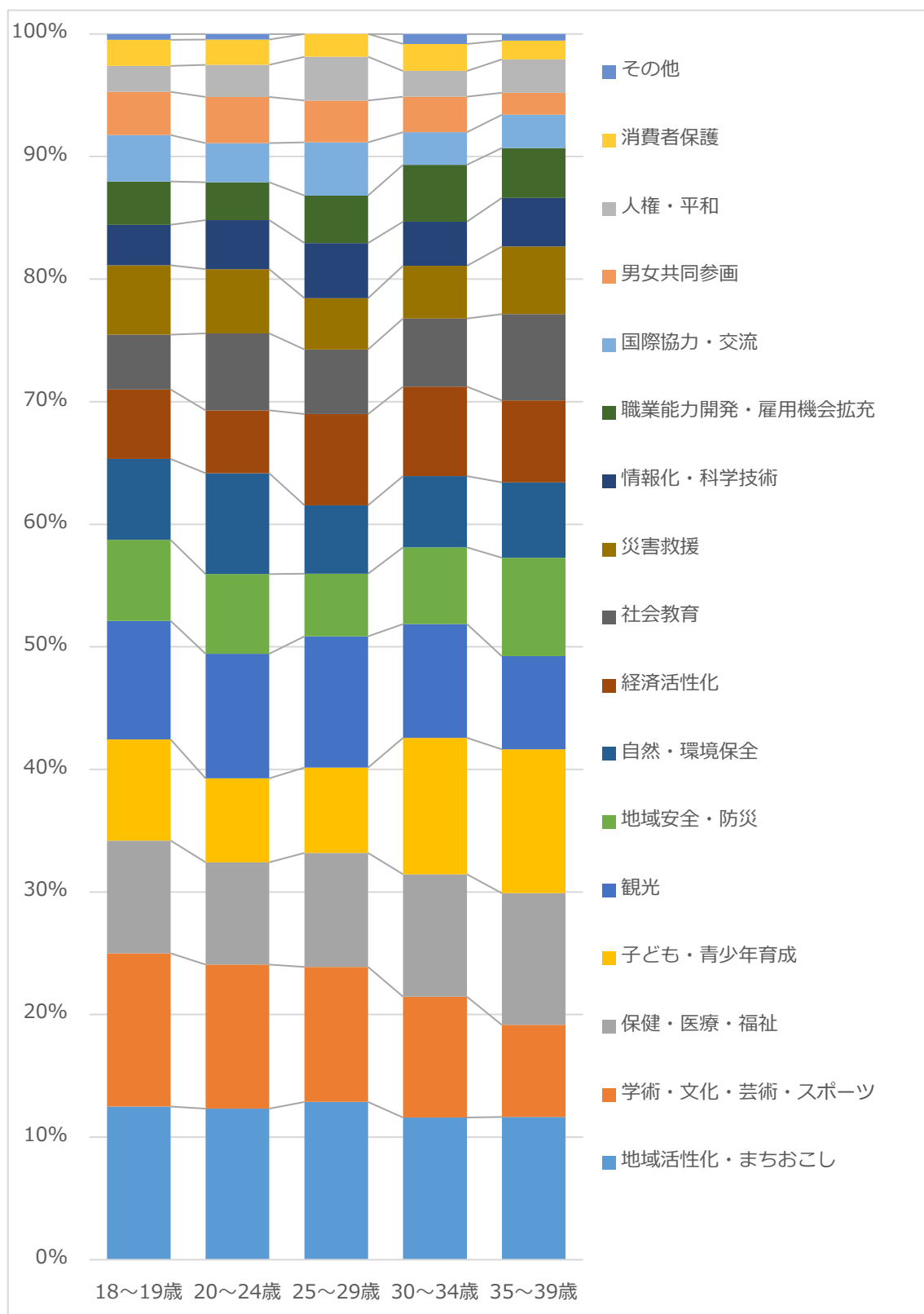
選択肢	18～19歳 (n=122)	20～24歳 (n=252)	25～29歳 (n=190)	30～34歳 (n=241)	35～39歳 (n=287)
保健・医療・福祉	 32.0%	 29.0%	 31.6%	 35.7%	 41.5%
社会教育	 15.6%	 21.8%	 17.9%	 19.9%	 27.2%
地域活性化・まちおこし	 43.4%	 42.9%	 43.7%	 41.5%	 44.9%
観光	 33.6%	 35.3%	 36.3%	 33.2%	 29.3%
学術・文化・芸術・スポーツ	 43.4%	 40.9%	 37.4%	 35.3%	 28.9%
自然・環境保全	 23.0%	 28.6%	 18.9%	 20.7%	 23.7%
災害救援	 19.7%	 18.3%	 14.2%	 15.4%	 21.3%
地域安全・防災	 23.0%	 22.6%	 17.4%	 22.4%	 31.0%
人権・平和	 7.4%	 9.1%	 12.1%	 7.5%	 10.5%
国際協力・交流	 13.1%	 11.1%	 14.7%	 9.5%	 10.5%
男女共同参画	 12.3%	 13.1%	 11.6%	 10.4%	 7.0%
子ども・青少年育成	 28.7%	 23.8%	 23.7%	 39.8%	 45.3%
情報化・科学技術	 11.5%	 13.9%	 15.3%	 12.9%	 15.3%
経済活性化	 19.7%	 17.9%	 25.3%	 26.1%	 25.8%
職業能力開発・雇用機会拡充	 12.3%	 10.7%	 13.2%	 16.6%	 15.7%
消費者保護	 7.4%	 7.1%	 6.3%	 7.9%	 5.9%
その他	 1.6%	 1.6%	 0.0%	 2.9%	 2.1%

どの年代も「地域活性化・まちおこし」の回答が多い。

24 歳以下では、「学術・文化・芸術・スポーツ」の回答が多い。

30 歳以上の子育て世代では、「子ども・青少年育成」の回答が多い。

【各年代の興味・関心のある分野の割合】



まちづくり活動への参加に期待すること

(質問4で「興味・関心がある」と答えた方のみ回答)

〔質問6〕

あなたがまちづくり活動に参加する場合に、期待することは何ですか。

選択肢	回答数	割合
身近な地域の役に立てる	452	53.6%
社会に貢献できる	449	53.2%
人とのつながりを増やせる	427	50.6%
困っている人や誰かの力になれる	410	48.6%
自分の成長やキャリアアップにつながる	361	42.8%
楽しい時間を過ごせる	290	34.4%
自分の知識やスキルが活かせる	279	33.1%
やりたいことが見つかる	202	23.9%
余暇時間を有意義に使える	168	19.9%
特別な知識やスキルなしでも参加できる	163	19.3%
自分の問題の解決につながる	151	17.9%
ソーシャルビジネスの勉強になる	133	15.8%
進学、就職などで有利になる	96	11.4%
わからない	13	1.5%
その他	12	1.4%

「その他」の自由記述の例：自分の子どもや次世代のためになること、社会の意識の変化、期待することはない など

【まちづくり活動への参加に期待すること（年代別）】

選択肢	18～19歳 (n=122)	20～24歳 (n=252)	25～29歳 (n=190)	30～34歳 (n=241)	35～39歳 (n=287)
社会に貢献できる	 42.6%	 43.3%	 36.8%	 40.7%	 41.8%
身近な地域の役に立てる	 40.2%	 43.3%	 34.7%	 41.1%	 44.9%
困っている人や誰かの力になれる	 50.0%	 35.3%	 33.7%	 34.4%	 39.4%
ソーシャルビジネスの勉強になる	 11.5%	 10.3%	 13.2%	 12.4%	 13.2%
自分の成長やキャリアアップにつながる	 42.6%	 31.7%	 38.9%	 29.5%	 29.3%
人とのつながりを増やせる	 42.6%	 43.3%	 35.8%	 36.5%	 38.3%
やりたいことが見つかる	 19.7%	 17.9%	 18.4%	 19.9%	 17.4%
自分の知識やスキルが生かせる	 27.0%	 26.6%	 21.6%	 28.6%	 24.0%
特別な知識やスキルなしでも参加できる	 16.4%	 15.5%	 12.6%	 14.9%	 15.3%
余暇時間を有意義に使える	 21.3%	 13.5%	 13.2%	 15.8%	 15.7%
楽しい時間を過ごせる	 32.0%	 20.6%	 23.2%	 30.7%	 28.2%
自分の問題の解決につながる	 14.8%	 17.1%	 11.1%	 9.5%	 16.0%
進学、就職などで有利になる	 25.4%	 15.9%	 3.7%	 4.6%	 2.4%
わからない	 1.6%	 0.8%	 0.5%	 1.2%	 1.7%
その他	 0.0%	 1.6%	 0.0%	 2.1%	 1.0%

どの年齢層においても、「社会に貢献できる」「身近な地域の役に立てる」「困っている人や誰かの力になれる」との回答は多く、18～19 歳では、「困っている人や誰かの力になれる」との回答が最も多い。

24 歳以下では、「人とのつながりを増やせる」との回答が他の年齢層よりも多い。

【まちづくり活動への参加に期待すること（セグメント毎）】

選択肢	活動層 (n=121)	経験層 (n=109)	関心層 (n=614)
社会に貢献できる	 60.3%	 51.4%	 52.1%
身近な地域の役に立てる	 66.9%	 62.4%	 49.3%
困っている人や誰かの力になれる	 54.5%	 49.5%	 47.2%
ソーシャルビジネスの勉強になる	 22.3%	 11.9%	 15.1%
自分の成長やキャリアアップにつながる	 50.4%	 45.9%	 40.7%
人とのつながりを増やせる	 70.2%	 58.7%	 45.3%
やりたいことが見つかる	 29.8%	 22.0%	 23.1%
自分の知識やスキルが生かせる	 47.9%	 37.6%	 29.3%
特別な知識やスキルなしでも参加できる	 23.1%	 18.3%	 18.7%
余暇時間を有意義に使える	 22.3%	 24.8%	 18.6%
楽しい時間を過ごせる	 48.8%	 33.9%	 31.6%
自分の問題の解決につながる	 25.6%	 16.5%	 16.6%
進学、就職などで有利になる	 15.7%	 14.7%	 9.9%
わからない	0.0%	0.9%	2.0%
その他	 1.7%	 1.8%	 1.3%

活動層では、「人とのつながりを増やせる」との回答が他のセグメントよりも多い。

まちづくり活動に参加したきっかけ

(質問7で、まちづくり活動に参加した「経験がある」と答えた方のみ回答)

〔質問8〕まちづくり活動に参加した直接的なきっかけは、どのようなものでしたか。

選択肢	回答数	割合
学校や職場で参加する機会を与えられて	138	52.9%
自発的な意思	97	37.2%
人に勧められて、誘われて	50	19.2%
町内会などの地域の団体で参加する機会を与えられて	50	19.2%
ワークショップやセミナーなどのイベント	43	16.5%
その他	6	2.3%

「その他」の自由記述の例：仕事として携わって など

まちづくり活動への参加形態

(質問7で、まちづくり活動に参加した「経験がある」と答えた方のみ回答)

〔質問9〕まちづくり活動にはどのような立場に関わりましたか。

選択肢	回答数	割合
既存の団体やグループの一員として活動	125	47.9%
学校のサークルやゼミなどで活動	84	32.2%
個人で活動	66	25.3%
ワークショップなどのイベントの参加者として	51	19.5%
団体やグループなどを立ち上げて活動	36	13.8%
職場のCSR活動として	15	5.7%
その他	6	2.3%

まちづくり活動者の知人

〔質問10〕あなたの周りでまちづくり活動を行っている人がいますか。

選択肢	回答数	割合
はい	235	21.5%
いいえ	276	25.3%
わからない	581	53.2%

まちづくり活動に参加することへの不安、参加の妨げ

〔質問 1 1〕

まちづくり活動に参加することへの不安や、参加の妨げになると思うことは何ですか。

選択肢	回答数	割合
活動時間の長さ・頻度などの時間的な負担	689	63.1%
活動事例や団体などの情報がわからない	499	45.7%
自分に何ができるのかわからない	467	42.8%
自分の他の予定が立てづらくなる	430	39.4%
先に活動している人の輪に入れるか不安	402	36.8%
新型コロナウイルス感染症の影響	345	31.6%
一緒に参加する仲間がいない	341	31.2%
いつまで参加し続けられるかわからない	292	26.7%
特別な知識やスキルがないと参加しづらい	186	17.0%
その他	46	4.2%
特に不安や妨げになることはない	32	2.9%
わからない	26	2.4%

「その他」の自由記述の例：自分の生活で精一杯、仕事との兼ね合い、まちづくり活動が何か分からない、入り口が分からない、転勤がある、子連れで参加できるか・預けられるか、特定の思想等に勧誘される不安、資金面の不安、行政へのご意見 など

【まちづくり活動に参加することへの不安、参加の妨げ（年代別）】

選択肢	18～19歳 (n=122)	20～24歳 (n=252)	25～29歳 (n=190)	30～34歳 (n=241)	35～39歳 (n=287)
活動時間の長さ・頻度などの時間的な負担	53.3%	57.9%	62.6%	68.0%	67.9%
自分の他の予定が立てづらくなる	34.4%	43.3%	38.4%	37.3%	40.4%
自分に何ができるのかわからない	44.3%	47.6%	39.5%	44.0%	39.0%
活動事例や団体などの情報がわからない	44.3%	41.7%	47.4%	47.3%	47.4%
一緒に参加する仲間がいない	37.7%	30.6%	33.7%	33.6%	25.4%
先に活動している人の輪に入れるか不安	36.1%	41.7%	35.8%	36.1%	34.1%
特別な知識やスキルがないと参加しづらい	21.3%	17.1%	17.9%	15.8%	15.7%
いつまで参加し続けられるかわからない	22.1%	27.8%	20.0%	30.3%	29.3%
新型コロナウイルス感染症の影響	32.8%	30.6%	27.4%	33.6%	33.1%
わからない	1.6%	3.2%	1.6%	0.8%	3.8%
特に不安や妨げになることはない	3.3%	2.0%	4.7%	1.7%	3.5%
その他	2.5%	2.4%	1.6%	5.8%	7.0%

【まちづくり活動に参加することへの不安、参加の妨げ（職業別）】

選択肢	学生 (n=322)	勤め人（常勤） (n=533)	勤め人（パート・アルバイトなど） (n=85)	会社・団体などの役員 (n=35)	自営業者（家族従業員の方を含む） (n=29)	家事専業 (n=54)	無職 (n=32)
活動時間の長さ・頻度などの時間的な負担	54.7%	69.0%	60.0%	60.0%	65.5%	59.3%	62.5%
自分の他の予定が立てづらくなる	39.1%	39.2%	47.1%	42.9%	34.5%	31.5%	37.5%
自分に何ができるのかわからない	47.2%	40.7%	40.0%	34.3%	37.9%	42.6%	53.1%
活動事例や団体などの情報がわからない	44.7%	46.3%	47.1%	42.9%	44.8%	50.0%	40.6%
一緒に参加する仲間がいない	32.9%	31.0%	32.9%	28.6%	13.8%	38.9%	21.9%
先に活動している人の輪に入れるか不安	39.4%	34.1%	40.0%	31.4%	31.0%	42.6%	46.9%
特別な知識やスキルがないと参加しづらい	20.2%	13.9%	23.5%	8.6%	13.8%	24.1%	15.6%
いつまで参加し続けられるかわからない	26.7%	27.4%	25.9%	25.7%	31.0%	16.7%	31.3%
新型コロナウイルス感染症の影響	31.4%	27.4%	45.9%	31.4%	34.5%	46.3%	37.5%
わからない	2.8%	1.7%	3.5%	0.0%	3.4%	3.7%	6.3%
特に不安や妨げになることはない	3.1%	3.2%	2.4%	5.7%	3.4%	0.0%	0.0%
その他	3.4%	3.9%	2.4%	5.7%	6.9%	9.3%	9.4%

【まちづくり活動に参加することへの不安、参加の妨げ（セグメント毎）】

選択肢	活動層 (n=121)	経験層 (n=109)	関心層 (n=614)	無関心層 (n=217)	関心喪失層 (n=31)
活動時間の長さ・頻度などの時間的な負担	52.1%	57.8%	66.3%	63.6%	58.1%
自分の他の予定が立てづらくなる	27.3%	27.5%	40.6%	47.5%	48.4%
自分に何ができるのかわからない	26.4%	32.1%	49.0%	43.3%	16.1%
活動事例や団体などの情報がわからない	26.4%	40.4%	50.0%	51.2%	16.1%
一緒に参加する仲間がいない	24.8%	33.0%	31.6%	34.6%	19.4%
先に活動している人の輪に入れるか不安	25.6%	42.2%	39.6%	35.0%	19.4%
特別な知識やスキルがないと参加しづらい	12.4%	15.6%	18.2%	16.6%	19.4%
いつまで参加し続けられるかわからない	34.7%	26.6%	26.9%	22.6%	22.6%
新型コロナウイルス感染症の影響	36.4%	29.4%	33.2%	26.3%	25.8%
わからない	1.7%	1.8%	1.6%	5.5%	0.0%
特に不安や妨げになることはない	6.6%	3.7%	1.6%	3.7%	6.5%
その他	5.0%	4.6%	3.6%	3.7%	16.1%

どの年代、職業、セグメントにおいても、「活動時間の長さ・頻度などの時間的な負担」との回答が最も多い。

活動層では、「いつまで参加し続けられるかわからない」「新型コロナウイルス感染症の影響」との回答が他のセグメントと比較して多い。

活動経験がない関心層・無関心層では、「自分の他の予定が立てづらくなる」「自分に何ができるのかわからない」「活動事例や団体などの情報がわからない」などの回答が多い。

まちづくり活動に参加する若者が増えるために重要なこと

〔質問 1 2〕 まちづくり活動に参加する若者が増えるには、何が重要だと思いますか。

選択肢	回答数	割合
事前申込なしで短時間でも体験できる機会	607	55.6%
交通費や会場使用料などの経費の支援	514	47.1%
個人で参加できる機会	508	46.5%
活動中の人や興味のある人たちが集う交流の機会	468	42.9%
行政や地域などから課題や一緒に取り組みたいことなどが示される	330	30.2%
活動のアドバイスが受けられること	262	24.0%
自分の知識やスキルが生かせること	226	20.7%
打合せなどができるフリースペース	158	14.5%
活動が表彰される仕組み	122	11.2%
その他	100	9.2%
わからない	44	4.0%

「その他」の自由記述の例：SNSを使った情報の提示、無償でないこと、若者にとってメリットがあること、若者の意見が反映されること・若者に決定権があること、団体や活動を知る機会、小中学校・高校学校への市職員による出前講座、政治や社会に対するご意見 など

活動の入り口として、「事前申込なしで短時間でも体験できる機会」が 55.6%、「個人で参加できる機会」が 46.5%と多かった。また、「交通費や会場使用料などの経費の支援」も 47.1%と多かった。

【まちづくり活動に参加する若者が増えるために重要なこと（セグメント毎）】

選択肢	活動層 (n=121)	経験層 (n=109)	関心層 (n=614)	無関心層 (n=217)	関心喪失層 (n=31)
事前申込なしで短時間でも体験できる機会	 43.8%	 55.0%	 60.3%	 47.5%	 67.7%
活動中の人や興味のある人たちが集う交流の機会	 61.2%	 47.7%	 44.1%	 29.5%	 22.6%
活動のアドバイスが受けられること	 21.5%	 17.4%	 29.2%	 16.1%	 9.7%
個人で参加できる機会	 50.4%	 45.9%	 51.1%	 34.6%	 25.8%
自分の知識やスキルが生かせること	 28.9%	 21.1%	 21.0%	 16.6%	 9.7%
活動が表彰される仕組み	 21.5%	 8.3%	 9.3%	 12.4%	 9.7%
交通費や会場使用料などの経費の支援	 50.4%	 50.5%	 46.4%	 45.2%	 48.4%
行政や地域などから課題や一緒に取り組みたいことなどが示される	 43.0%	 32.1%	 30.6%	 23.5%	 12.9%
打合せなどができるフリースペース	 28.9%	 18.3%	 12.7%	 10.6%	 6.5%
わからない	 1.7%	 0.9%	 2.1%	 12.9%	 0.0%
その他	 15.7%	 10.1%	 7.0%	 9.7%	 19.4%

「関心層」にとっては、「事前申込なしで短時間でも体験できる機会」との回答が 60.3%と最も多く、次いで「個人で参加できる機会」との回答が 51.1%で、気軽に始められる活動の入り口を求めていることが分かった。

「活動層」にとっては、「活動中の人や興味のある人たちが集う交流の機会」が重要であるとの回答が 61.%と多かった。

仙台市役所の取り組み等を知る手段

〔質問 13〕

仙台市役所の取り組みやイベントなどの情報を、どの方法で知ることが多いですか。

回答の偏りの比較のために、調査を知ったきっかけとして住民基本台帳からの無作為抽出である「市役所からの郵便物」を併記した。

【全体 (n=1092)】			【市役所からの郵送物 (n=530)】		
選択肢	回答数	割合	選択肢	回答数	割合
市政だより	488	44.7%	市政だより	263	49.6%
仙台市公式LINEアカウント	268	24.5%	新聞・テレビ・ラジオ	145	27.4%
新聞・テレビ・ラジオ	254	23.3%	Twitter	96	18.1%
学校や職場からの案内	233	21.3%	チラシ・ポスター	94	17.7%
Twitter	202	18.5%	仙台市ホームページ	84	15.8%
仙台市ホームページ	199	18.2%	Webメディア	65	12.3%
チラシ・ポスター	160	14.7%	学校や職場からの案内	63	11.9%
Webメディア	145	13.3%	Instagram	61	11.5%
Instagram	112	10.3%	You Tube	45	8.5%
人からの紹介・口コミ	110	10.1%	人からの紹介・口コミ	41	7.7%
You Tube	69	6.3%	仙台市公式LINEアカウント	37	7.0%
Facebook	44	4.0%	その他	29	5.5%
その他	39	3.6%	Facebook	18	3.4%
仙台市メール配信サービス	32	2.9%	仙台市メール配信サービス	6	1.1%

「その他」の自由記述の例：知る機会がない など

いずれも「市政だより」との回答が最も多かった。

「市役所公式 LINE アカウント」「学校や職場からの案内」との回答が、「全体」において「市役所からの郵便物」より多く、アンケートの周知に効果があったものと思われる。

【仙台市役所の取り組み等を知る手段（全体・年齢毎）】

選択肢	18～19歳 (n=122)	20～24歳 (n=252)	25～29歳 (n=190)	30～34歳 (n=241)	35～39歳 (n=287)
市政だより	 17.2%	 29.8%	 36.8%	 59.3%	 62.4%
仙台市ホームページ	 14.8%	 16.3%	 18.9%	 21.6%	 18.1%
仙台市メール配信サービス	 0.0%	 2.4%	 1.6%	 4.1%	 4.5%
仙台市公式LINEアカウント	 4.1%	 14.3%	 27.9%	 31.5%	 34.1%
Twitter	 26.2%	 22.6%	 21.6%	 14.1%	 13.2%
Facebook	 1.6%	 2.8%	 3.7%	 4.1%	 6.3%
Instagram	 13.1%	 11.5%	 8.9%	 9.5%	 9.4%
You Tube	 7.4%	 6.7%	 7.9%	 6.6%	 4.2%
新聞・テレビ・ラジオ	 22.1%	 19.8%	 21.6%	 23.2%	 27.9%
Webメディア	 13.9%	 16.7%	 12.6%	 10.8%	 12.5%
チラシ・ポスター	 15.6%	 16.3%	 15.3%	 12.4%	 14.3%
学校や職場からの案内	 48.4%	 40.9%	 8.9%	 9.1%	 11.1%
人からの紹介・口コミ	 18.0%	 11.1%	 7.4%	 9.1%	 8.4%
その他	 4.1%	 3.2%	 7.4%	 1.7%	 2.8%

【仙台市役所の取り組み等を知る手段（市役所からの郵便物・年齢毎）】

選択肢	18～19歳 (n=34)	20～24歳 (n=79)	25～29歳 (n=116)	30～34歳 (n=141)	35～39歳 (n=160)
市政だより	 26.5%	 27.8%	 40.5%	 58.9%	 63.8%
仙台市ホームページ	 17.6%	 15.2%	 14.7%	 17.7%	 15.0%
仙台市メール配信サービス	 0.0%	 1.3%	 0.0%	 1.4%	 1.9%
仙台市公式LINEアカウント	 2.9%	 3.8%	 7.8%	 7.8%	 8.1%
Twitter	 23.5%	 25.3%	 25.0%	 14.9%	 11.3%
Facebook	 2.9%	 1.3%	 3.4%	 2.1%	 5.6%
Instagram	 20.6%	 15.2%	 11.2%	 9.2%	 10.0%
You Tube	 11.8%	 8.9%	 10.3%	 7.8%	 6.9%
新聞・テレビ・ラジオ	 26.5%	 27.8%	 25.9%	 24.1%	 31.3%
Webメディア	 2.9%	 19.0%	 12.1%	 11.3%	 11.9%
チラシ・ポスター	 11.8%	 24.1%	 19.0%	 17.0%	 15.6%
学校や職場からの案内	 29.4%	 11.4%	 6.9%	 12.1%	 11.9%
人からの紹介・口コミ	 11.8%	 7.6%	 6.9%	 9.9%	 5.6%
その他	 8.8%	 5.1%	 9.5%	 2.8%	 4.4%

市政だよりはどの年代も多いが、30歳以上では特に多い。

その他自由記述

〔質問 1 4〕

その他、より多くの若者がまちづくりに参画するためのアイデアや、補足したいことなどがあればご記入ください。

194 件の回答があり、内容に応じて分類中である。

〔付録〕 アンケート調査票

若者のまちづくり活動に関する意識調査

該当する□に✓を入れてください。

〔質問１〕 あなたの年齢をお答えください。 **必須**

※令和４年８月１日時点における年齢をお答えください。

- ☐ 18～19 歳
- ☐ 20～24 歳
- ☐ 25～29 歳
- ☐ 30～34 歳
- ☐ 35～39 歳

〔質問２〕 あなたのご職業をお答えください。 **必須**

※主なものを１つ選んでください。

- ☐ 学生
- ☐ 勤め人（常勤）
- ☐ 勤め人（パート・アルバイトなど）
- ☐ 会社・団体などの役員
- ☐ 自営業者（家族従業の方を含む）
- ☐ 家事専業
- ☐ 無職
- ☐ その他

その他を選択した場合はこちらに記載してください

〔質問3〕この調査を知ったきっかけを教えてください。

- ☐ 市役所からの郵便物
- ☐ チラシ
- ☐ インターネット・SNS
- ☐ その他

〔質問4〕まちづくり活動への参加に対して、興味・関心はありますか。 **必須**

※「まちづくり活動」とは、このアンケートでは、若い世代の皆さまが、社会や地域をよりよくするために、社会・地域が抱える課題の解決やまちの魅力向上・地域の幸福度向上などに取り組む活動を指します。

- ☐ 興味・関心がある
- ☐ 特に興味・関心はない

〔質問5〕

質問4で、まちづくり活動に「興味・関心がある」を選んだ方にお聞きします。どのような分野のまちづくり活動に興味・関心がありますか。

※複数選択可

- ☐ 保険・医療・福祉
- ☐ 社会教育
- ☐ 地域活性化・まちおこし
- ☐ 観光
- ☐ 学術・文化・芸術・スポーツ
- ☐ 自然・環境保全
- ☐ 災害救援
- ☐ 地域安全・防災
- ☐ 人権・平和
- ☐ 国際協力・交流
- ☐ 男女共同参画
- ☐ 子ども・青少年育成
- ☐ 情報化・科学技術
- ☐ 経済活性化
- ☐ 職業能力開発・雇用機会拡充
- ☐ 消費者保護

☐ その他

その他を選択した場合はこちらに記載してください

〔質問6〕

質問4で、まちづくり活動に「興味・関心がある」を選んだ方にお聞きします。
あなたがまちづくり活動に参加する場合に、期待することは何ですか。

※複数選択

- ☐ 社会に貢献できる
- ☐ 身近な地域の役に立てる
- ☐ 困っている人や誰かの力になれる
- ☐ ソーシャルビジネスの勉強になる
- ☐ 自分の成長やキャリアアップにつながる
- ☐ 人とのつながりを増やせる
- ☐ やりたいことが見つかる
- ☐ 自分の知識やスキルが生かせる
- ☐ 特別な知識やスキルなしでも参加できる
- ☐ 余暇時間を有意義に使える
- ☐ 楽しい時間を過ごせる
- ☐ 自分の問題の解決につながる
- ☐ 進学、就職などで有利になる
- ☐ わからない
- ☐ その他

その他を選択した場合はこちらに記載してください

〔質問7〕「まちづくり活動」に参加した経験がありますか。 **必須**

- ☐ 経験がある（現在も参加中）
- ☐ 経験がある（過去に参加していた）
- ☐ ない

〔質問8〕

質問7で、まちづくり活動に参加した「経験がある」を選んだ方にお聞きします。まちづくり活動に参加した直接的なきっかけは、どのようなものでしたか。

※複数選択可

- ☐ 自発的な意思
- ☐ ワークショップやセミナーなどのイベント
- ☐ 人に勧められて、誘われて
- ☐ 学校や職場で参加する機会を与えられて
- ☐ 町内会などの地域の団体で参加する機会を与えられて
- ☐ その他

その他を選択した場合はこちらに記載してください

〔質問9〕

質問7で、まちづくり活動に参加した「経験がある」を選んだ方にお聞きします。まちづくり活動にはどのような立場で関わりましたか。

※複数選択可

- ☐ 個人で活動
- ☐ 団体やグループなどを立ち上げて活動
- ☐ 既存の団体やグループの一員として活動
- ☐ 学校のサークルやゼミなどで活動
- ☐ 職場のCSR活動として
- ☐ ワークショップなどのイベントの参加者として
- ☐ その他

その他を選択した場合はこちらに記載してください

〔質問 10〕 あなたの周りでまちづくり活動を行っている人がいますか。 **必須**

- ☐ はい
- ☐ いいえ
- ☐ わからない

〔質問 11〕 まちづくり活動に参加することへの不安や、参加の妨げになると思うことは何ですか。 **必須**

※複数選択可

- ☐ 活動時間の長さ・頻度などの時間的な負担
- ☐ 自分の他の予定が立てづらくなる
- ☐ 自分に何ができるのかわからない
- ☐ 活動事例や団体などの情報がわからない
- ☐ 一緒に参加する仲間がいない
- ☐ 先に活動している人の輪に入れるか不安
- ☐ 特別な知識やスキルがないと参加しづらい
- ☐ いつまで参加し続けられるかわからない
- ☐ 新型コロナウイルス感染症の影響
- ☐ わからない
- ☐ 特に不安や妨げになることはない
- ☐ その他

その他を選択した場合はこちらに記載してください

〔質問 12〕 まちづくり活動に参加する若者が増えるには、何が重要だと思いますか。 **必須**

※複数選択可

- ☐ 事前申込なしで短時間でも体験できる機会
- ☐ 活動中の人や興味のある人たちが集う交流の機会
- ☐ 活動のアドバイスが受けられること
- ☐ 個人で参加できる機会
- ☐ 自分の知識やスキルが生かせること
- ☐ 活動が表彰される仕組み
- ☐ 交通費や会場使用料などの経費の支援
- ☐ 行政や地域などから課題や一緒に取り組みたいことなどが示される
- ☐ 打合せなどができるフリースペース
- ☐ わからない
- ☐ その他

その他を選択した場合はこちらに記載してください

〔質問１３〕 仙台市役所の取り組みやイベントなどの情報を、どの方法で知ることが多いですか。 **必須**

※複数選択可

- ☐ 市政だより
- ☐ 仙台市ホームページ
- ☐ 仙台市メール配信サービス
- ☐ 仙台市公式 LINE アカウント
- ☐ Twitter
- ☐ Facebook
- ☐ Instagram
- ☐ You Tube
- ☐ 新聞・テレビ・ラジオ
- ☐ Web メディア
- ☐ チラシ・ポスター
- ☐ 学校や職場からの案内
- ☐ 人からの紹介・口コミ
- ☐ その他

その他を選択した場合はこちらに記載してください

〔質問１４〕 その他、より多くの若者がまちづくりに参画するためのアイデアや、補足したいことなどがあればご記入ください。